

nouvelle Fontaine

発行日 2025年4月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email: fontaine@sensyu.ne.jp

https://jisen.jp

「アートフェスin自泉」開催！！

岸和田文化事業協会は「市民の文化は市民の手によって守り育てて行く」という理念を掲げ、様々な活動に取り組んできました。若い芸術家の発掘と育成はそのひとつで「自泉ジュニアコンサート」「自泉フレッシュコンサート」「自泉アーティストバンク」については、小誌でも何度か紹介しています。音楽を中心に展開してきたこの事業に、新たに絵画が加わることとなりました。

自泉会館は音楽ホールのに展示室も備えています。これまでに絵画や写真、書道、手芸、陶芸などの展示で使用されてきましたが、若手のアーティストを紹介するといった形は初めての試みです。

今回は、ご縁のあった4名のアーティストに参加していただくことになりました。

◆井上 陽太



佐野支援学校卒業後、貝塚市にあるB型作業所「森の小径」に通所しています。幼少の頃から絵を描くこと、粘土遊びが大好きで、初めて出た言葉は「赤・青・黄色」でした。粘土で所々盛り上げる立体画は、本人らしい作品になっていると思います。特にだるまのモチーフが大のお気に入りです。

一方で小1から通っている幾田邦華絵画教室では、水彩画、アクリル画、油絵と進み、写実的な絵も描いています。



◆熊取 榎鈴



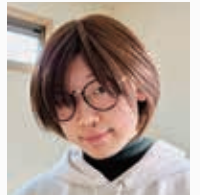
初めてこのような機会を頂き、ありがとうございます。私は主にアニメのキャラクターを描いたり、実在する人物の写真をもとにデフォルメキャラを創作したりしています。特にライティングにこだわり、光や影の色の表現を大切にしています。作品をご覧の際は、ぜひ光の色や影のニュアンスにも注目していただけると嬉しいです。



◆菅谷 佳央里



今回の展示会に出展させていただく作品のテーマは『彩りと食卓』です。何気なくいつも目にする食卓にはたくさんの“想い”が込められていると私は考えています。どんな想いを持ってその料理を振る舞うのか。どんな想いを感じてその料理を味わうのか。どんな想いを噛み締めながらその食卓を囲むのか。それぞれの想いを“彩り”で表現し、見る人に想像してもらいながら作品を楽しんでいただきたいと思います。

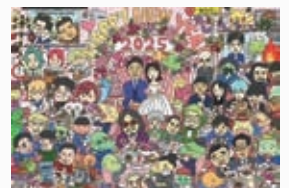


◆松田 悠矢



私の作品は1年間のトレンドを干支の動物で表現した年賀状です。売れた芸人、流行ったアニメ、SNSで話題になった事、ニュースで騒がれた事、個人的にハマった事など様々なトレンドをイラストに盛り込んでいます。

細かくごちゃごちゃとした絵を描くのが好きで、隅々まで見てもらえると、思わぬ発見があったり、これは世間を騒がせたあの人かな、ああこんなことあったな、懐かしいなと少しでも感じてもらうと嬉しいです。



「アートフェスin自泉」

日程：2025年8月1日(金)～3日(日)

会場：自泉会館展示室

入場無料

歩いて歩いて…どこまで行くな？

子どもわくわくプロジェクト

小島

恵



子どもわくわくプロジェクトをスタートするまで何歩あったんだろう。

ママ友の1人から「岸和田おやこ劇場」という子育てサークルに誘われたのが第一歩。生の舞台を親子で観て笑ったり泣いたり感じたことを言葉にする、態度にだす。そうして互いの気持ちを擦り合わせ通じ合わせ、思いやりの気持ちを育む。感性を高め、心の栄養の素と一緒に育てようっていうのが、このサークルの意義。我が家の2人の娘たちはとても楽しんでた。けれども私は楽しいだけでは終われない、子育てに不安を抱える新米母だった。そんな時、他のおかーさん達が「楽しみな損やで、ホレホレ！」って手を引っ張ってくれた。おかげで能天気なおかーちゃんに変身できた。ありがとう。

私の中に生まれた感謝の気持ちをどうしよう？ よし！ おやこ劇場の運営に携わって恩返しだ！ コレが第二步。企画や予算組みを関係各所と連携して、先輩ママや同世代ママといろんな遊びと舞台を楽しんだ。その活動から発展して、夏休みに全国から児童劇団が集まり舞台鑑賞と広場遊びが楽しめる一大フェス「子どもえんげき祭inきしわだ」を主催するようになっていた。

残念ながら「岸和田おやこ劇場」は子育てサークルの役割を終了し閉会したが「子どもえんげき祭inきしわだ」は残したいという同じ思いのママたちの頑張りで、引き続き開催する運びになった。これが第三步だな。

浪切ホールの特設事務所の一画にデスクを置いてもらい、他のスタッフたちと仕事や時間のやりくりをして、夏休みの5日間、子どもの為の演劇フェス企画を動かしていく。大変だけどやりがいがある。フェス当日の子どもたちの笑顔で疲れなんて吹っ飛んでいた。

だけど、ここにも逆風が吹いちゃうんだな。子どもの為の企画でスタートしたのに、大人の事情がぐいぐ

い入ってくる。何のために私たち頑張ってるんだろう？ そんな疑問の棘が刺さる。気づかないふりでいたけれど、いろんな棘がどんどん増えてくる。取り除きたい。それなら私たちも大人の事情をぶつけ返してやろう！ 本当にやりたい事をやりたいメンバーと、一から作ろうよ。

はい、4歩目！ たった4人で『子どもわくわくプロジェクト』はスタートした。今までの人脈、助けてもらえるもん、使えるもんは全て使え！ 舞台鑑賞と遊びとワークショップを1日にぎゅっと凝縮した「夏休み子どもまつりinなみきり」を企画。スタッフが面白い＆楽しいって思えるものを子どもたちの笑顔が見たいと企画運営して、今年で4期目となった。こうして書いてみると大きく4歩。でも躓いて、立ち止まって、引き返して、飛んでみたりで何歩もあったように感じる。

何でそんなに頑張るの？ ってよく聞かれる。そのたびこう答える。

「だって楽しいもん。子どもたちが楽しんで笑ってたらそれだけでええんやもん。私たちの頑張る背中を、私たちの子どもたちが見てるねん。きっと次に繋がっていくねん。ええ巡り合わせやと思わん？ 子どもわくわくプロジェクト、名前のまんまや、ええやろ〜」おまけ…

岸和田文化事業協会に入ったのは、前々会長の松本則子氏に「子どもの為の企画を自泉会館を使って一緒に作ってこうよ」って誘われたから。子どもの為って言われたら弱いんよなあ。何ができるかわからないけれど、と入会。で、何が何やら分からないうちに副会長になってた。さてさて、次はどんな楽しい事ができるかな？



青少年海外ラ・ロシェル市 音楽交流派遣事業に参加して

岸和田市では、フランスのラ・ロシェル市と音楽を通じた交流派遣事業がスタートしました。

記念すべき第1回の派遣に参加した、中地莉子さんと千田陶子さんのお二人にお話を聞きました。



千田 陶子

中地 莉子



中地 莉子

この度、フランスのラ・ロシェル市への音楽交流派遣事業に選出していただき、現地の学生との交流、そしてコンサートに出演いたしました。私にとって初めてのフランス、初めての海外でのコンサートでしたが、渡仏前から不安よりも楽しみな気持ちが大きく、ワクワクしながら準備を進めていました。渡仏後は現地の音楽学校に通う学生2名とコンサートに向けて練習を重ねました。その中で言語の壁に直面し、自分の気持ちを上手く表現できずもどかしさを感じましたが、ランチやクリスマスマーケットを楽しみ、英語で両国の文化について語り合ううちに自然と打ち解け、演奏も息がぴったり合うようになりました。コンサート当日は温かい雰囲気の中で演奏を楽しむことができ、終演後に「ブラボー」や嬉しいお言葉をたくさんいただき、充実した時間を過ごすことができました。また、お世話になったホストファミリーとはギターやドラムとのセッションを楽しんだり、フランス式の晩ご飯をご馳走になったり、ラ・ロシェル市内を案内してもらったりとたくさんの思い出を作ることができました。

ラ・ロシェル市での滞在期間は短く、名残惜しい気持ちもありますが、次回は日本で共演できることを心から楽しみにしています。

今回の派遣事業にご尽力くださった皆さま、本当にありがとうございました。この素晴らしい経験を糧にこれからも精進して参ります。

千田 陶子

私は、京都市立芸術大学でバイオリンを学んでいます。同じ大学の中地莉子先輩と共に岸和田市音楽交流派遣事業に選んでいただき、昨年12月、ラ・ロシェル市に行きました。

ラ・ロシェルでは、コンセルヴァトワールでドビュッシーやブラームスやグリンカの曲を、作曲や指揮の先生から学びました。ファゴットのエリザとピアノのポール、莉子先輩と私で室内楽を練習し、4人で出演したコンサートで、とても良い本番を終えることができました。現地ではエリザの家にホームステイさせていただき、だんじり祭りの動画を観た時に一番喜んでもらえて、岸和田市出身として嬉しかったです。

またラ・ロシェルはとても美しい街で道路は石畳、海辺には3つの歴史的な塔があり、絵画の中に入り込んだようでした。一緒に演奏した4人で観覧車や船に乗ったことがとてもいい思い出です。帰国の前日には、パリを散策している時に偶然見つけたマドレーヌ寺院に立ち寄りました。その時は立派な寺院だと思っただけでしたが、帰国後に調べてみるとサン＝サーンスがオルガニストとして勤めていた場所だと分かり、すごく興奮しました。

今回フランスで同世代の人と演奏するという機会をいただいて、話す言語が異なっても音楽を通して自分の思いを伝えられるという事を学びました。これから演奏する時は、音楽にもっと自分の思いや考えを乗せて演奏をするよう心掛けたいです。

Cultural Hot Spot In Kishiwada

岸和田の文化ホット情報

手作りを通しての生きがいや友達作り

手芸クラブ Bear's Paw 講師 小木曾 由季



手芸クラブ Bear's Paw 中央公民館生徒



手芸クラブ Bear's Paw 公民館作品

母がコットンショップをオープンし、私がパッチワークに出会ったのが45年前。その頃は習う場所もありませんでしたので独学で勉強しました。最初はトラディショナルな作品を作っていましたが、アメリカに行って現地の作品を見たことで、オリジナルを作るようになりました。そのおかげで色々なところで賞をいただき今に至ります。

以前、岸和田市役所の前にあった市立公民館を覚えているでしょうか？手芸講座はそこから始まり、3年後手芸クラブとして継続されることになりました。2001年に現在の市立公民館・中央公民館が堺町に新設されると、教室もそちらに移りました。

手芸といっても多種多様ですが、私が教えているのは主に布を使った作品です。毎月2回の講習で、時にはパッチワーク、時にはバッグなどの小物を私のオリジナルキットを使って講習しています。長年来てくださる方もいるので常に新しい作品を考えています。

現在最高齢の方は90歳を超えていますが、誰よりも丁寧に仕上げられ、元気で縫い物ができるといことで皆の目標になっています。

コロナの時、公民館は1ヶ月休館しましたが、それ以降は感染に気をつけながら教室を続けました。すると生徒さんから「自宅にこもっていることはつらいけど、

家で作業ができる宿題があってよかった。公民館に来てマスクごしでもおしゃべりができてうれしかった」と言われました。やはり人とのつながりがあると張り合いができ元気になりますね。

毎年10月の第4日曜日に公民館まつりが開催されます。そこでは1年間に作った作品を展示し、来てくださった方を対象に生徒が先生役となりワークショップもしています。小学生の子も来てくれ、将来が楽しみです。

現在、公民館の他に自宅の教室（由季パッチワークキルトクラブ）と福祉センターの講座でも教えています。皆さんのおかげで私も元気をもらっています。

2024年に浪切ホールの多目的ホールで7年ぶりに作品展をしました。普段は交流のない人たちが楽しそうにしているのを見て、また頑張ってみようと思う気持ちになりました。

見学歓迎いたします！

岸和田市立公民館 2階講座室
毎月第1、3火曜日
13:30～15:30



こちらから私の作品を見ていただけます

泉州の 近代建築

vol.9

岸和田が誇る歴史。寺社仏閣や城下町はもちろん、趣ある近代建築も忘れてはなりません。その魅力や特徴を、大阪府ヘリテージマネージャーの山岡邦章氏にご紹介いただきます。

勝手に岸和田遺産「みかん蔵」 —岸和田らしさという認知—

大阪府ヘリテージマネージャー 山岡 邦章

岸和田市では明治から昭和にかけて、みかん栽培が盛んにおこなわれた。今は減少傾向だが、岸和田の山手はみかんの産地として認知されている。特に北阪、積川、内畑、白原、阿間河滝町など、神於山を取り巻く形でみかんの産地を形成していると考えてよいだろう。

今回、岸和田の建築物をとり上げるにあたり「みかん蔵」を紹介したい。ふぉんてーぬ83号の「玉葱小屋」に続き、また変わったものをとりあげるなどと思われるだろうが、この建物、岸和田の山手の特徴をよく残す建物なのである。

写真は北阪町に残る「みかん蔵」である。この名前は私が勝手に付けているだけで、正式なものではない。

まず明治時代以降、みかんの値段もよく周辺でも盛んに作られるようになると、出荷調整のため保管倉庫が必要になった。そして高値で売れる大切なみかんのため、安定した温度を保てる土壁造りの建物で腐らないように通気性をよくし、収穫から1～2カ月蔵に貯蔵することで追熟させ、おいしいみかんに仕上げたのである。

そのためか、みかん蔵には驚くほど良い材木を使い、昔ながらの大工が建てた「蔵」が今も残る。この建物、普通に考えれば農業用の小屋なのだが、この地域に残るものは「蔵」である。むしろ母屋よりも良質の木材を使い、基礎の延べ石なども御影石の一間ものを使うなど、およそ小屋や倉庫とは思えないクオリティーの建物なのである。そのためか今も雨漏りもせず柱と梁の縦横の狂いがないしっかりした建物個体が散見できる。

建物内部にも工夫が凝らされ、床下の換気はもちろん床上に細い竹を敷き通気をよくし、小分けした各部屋の左右には、みかんを平置きできるように細かく棚が配され、さらに2階や小屋根にも外から搬入搬出できるように入口を設けているのが特徴である。ただ、山手ではあまりにも普通に屋敷内にあるため誰も認識していない点が難点で、この建物を見せてほしいと依頼すると怪訝な顔で迎えられることが多い。

そんな建物あったっけ？と思われる方、山手を歩いてい



ると普通に見られる建物の妻側の2階部分に階段の無い入口がある建物といえば、わかるだろうか。

この「みかん蔵」みかんで御殿が建ったというこの地域が「一番良かった」時代の面影を残していると考えられ、地域の特徴を端的に表す建物と言えるだろう。こういった知られていない建物に、あらたな価値づけを行うことが「岸和田らしさ」を残すうえで重要な作業となる。

指定文化財になっている古い建物だけが大切なのではない。実は今を生きる我々の記憶にあるのは、近現代の未指定の建物が大半なのである。そういったもので我々の記憶は構成されており、その個々の記憶が「岸和田らしさ」という全体的な認知につながる。その根っこにあるモノが失われつつある今、改めて評価を行うことは「岸和田らしさ」を残し、岸和田の歴史を考えるうえで重要なのである。



Ichigo-Ichien

Music is my life !



自泉アーティストバンク (ソプラノ)

安江 優花

私は幼い頃から、音楽に合わせて踊ったり歌ったり音楽を聞いたり舞台を観ることが大好きで、6歳から児童合唱団に入り、みんなで声を合わせて歌う楽しさを知りました。

転機は13歳の時。家族でミュージカル「ライオンキング」を観に行った時のことです。音楽の迫力と役の感情を歌で伝える演者の熱量に圧倒され、私も人の心を動かせる歌が歌えるようになりたい!と強く思い声楽を学ぶようになりました。

18歳の時、東京藝術大学の声楽科に進学するため1人で上京しました。新しい環境で同期と切磋琢磨しながら、より自分の声や表現力を磨き、レッスンも語学も熱心に取り組んでいました。その中でコロナ禍。誰にも会えず、授業も全てオンラインになってしまい、この先世の中がどうなっていくのか全く見えず、このまま歌を続けていてもいいのだろうかという将来への不安を抱き「歌うことが楽しい!」という気持ちもなくなったまま卒業の日を迎えてしまいました。

卒業後もやりたいことを見失い音楽から離れた時期もありましたが、やっぱり私はどんな形であろうとも音楽と関わって過ごしたいと強く思い、今は学校で音楽科の講師をしながら歌を歌い続けています。ジャンル問わず、さまざまな楽曲を歌える歌手になりたいと思い、今ではクラシック以外の歌にもチャレンジしています。

いつの日か、13歳の自分が夢みたように人の心を動かせる人になれるよう、これからも日々精進して参ります。

これからも歌と共に



自泉アーティストバンク (ソプラノ)

安江 陽奈子

私は、とてもおとなしく自分の気持ちをうまく言えない子どもでした。なかなか友達と打ち解けず、学校に行くのが嫌な時期もありました。

そんな時に心の支えになってくれたのが、小学1年生から通っていた児童合唱団です。初めの頃はただ楽しく歌っていただけでしたが、小学5年生の頃、大きく変わりました。その年の定期演奏会で上演したミュージカル「合唱団物語」。合唱団に通っている子どもたちがいろんな悩みや不安がありながらも合唱団があるから頑張れる、そんな物語です。「自分に通じるものがあるな」と思いながら、特にその中の「私の音楽」という曲が響きました。

『白い雲見上げる私は 小さいけれど 音楽があるから いつも幸せ』

この歌はまさに自分そのものだなと思った瞬間でした。今まで自分でも気づかなかったけれど、歌う時だけはなぜか笑顔が溢れてきて楽しく過ごすことができています。自分を表現することができるツール、それが歌なんだと気づき、それからは合唱団が自分の居場所になりました。好きなものを共有できる仲間との絆も深まり、そこではありのままの自分でいることができました。

合唱団に通っていなければ、歌の楽しさを知らないまま、音楽の道に進むことはなかったと思います。今は子どもたちに、音楽の楽しさを伝えたいという思いで、活動をしています。これからも歌と共に生きていきます。

*岸和田文化事業協会は、自泉アーティストバンクをとおして若い芸術家を応援しています。

Event Report

アンケートからの抜粋

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。アンケートにご協力頂いた方の感想を紹介させていただきます。

年初め紅白音合戦in自泉

日 時:令和7年1月12日(日) 午後1時30分

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

出演参加者数:42人

入場者数:57人



〈出演参加者の声〉

- ◆誰でも参加できる良い企画でした。
- ◆今年も参加したくて楽しみにしていました。やっぱり楽しかった。
- ◆最初は緊張していましたが、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しい時間を過ごせました。

漆原啓子 ヴァイオリンリサイタル&公開レッスン

日 時:令和7年2月23日(日)

公開レッスン 午後1時 ヴァイオリンリサイタル 午後3時

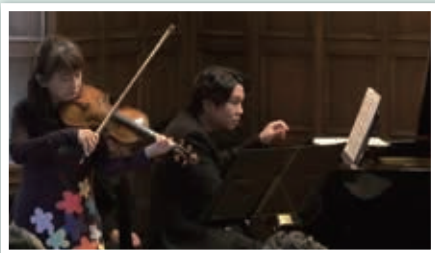
会 場:岸和田市立自泉会館ホール

◆公開レッスン

受講者数:3人 聴講者数:17人

◆ヴァイオリンリサイタル

入場者数:57人



〈皆さんの声〉

- ◆漆原さんの演奏を聴くのをずっと願っていましたが、思いがけず地元で聴くことができ、また自泉会館を知ることができたのも幸運でした。
- ◆室内楽にピッタリのホールでの演奏に加え、街歩きもでき、岸和田の良さを知りました。
- ◆漆原さんの演奏はとても素晴らしく、公開レッスンも大変勉強になりました。

第16回フレッシュプレミアムコンサート

未来へ～ここから～

日 時:令和7年3月2日(日) 午後2時

会 場:岸和田市立文化会館

(マドカホール)

入場者数:74人

【入賞者】

最優秀賞 大江 留菜 (ソプラノ)

優秀賞 平田 奈夏子 (ピアノ)

優秀賞 福留 あぐり (ピアノ)

最優秀賞
大江留菜



〈皆さんの声〉

- ◆未来の音楽家、頑張っておられる姿に感動しました。
- ◆いろんなジャンルがあり、楽しませていただきました。
- ◆優秀な皆さんの演奏はとても聴きごたえがありました。



おうちのお雛様を飾りましょう!

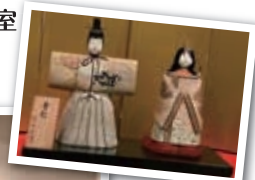
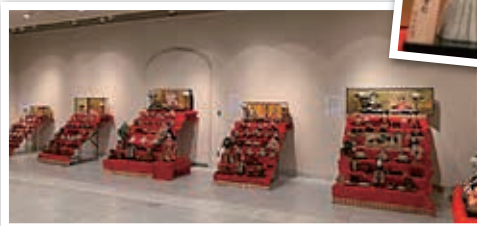
日 時:令和7年3月5日(水)～9日(土)

午前10時～午後5時

(最終日のみ午後4時まで)

会 場:岸和田市立自泉会館展示室

入場者数:181人



〈皆さんの声〉

- ◆それぞれのお雛様にエピソードがあり、くすっと笑えたり、うるっと来たりしました。
- ◆持ち主の方の長年にかけての思いが書かれているのが良かった。
- ◆お花も飾られていて優しい雰囲気ので、またエピソードで、より温かい気持ちになりました。

文化情報

第76回岸和田市市展への 作品を募集します

自作未発表のものに限ります

- ・資 格 平成22年4月1日以前に生まれた方。
- ・作品規格、搬入出日 表のとおり
- ・搬入時間 午後1時～午後7時
- ・搬出時間 午後4時～午後7時
- ・出 品 料 500円
- ・搬入場所 マドカホール展示場(荒木町1丁目17番1号)

※壁面展示する作品は、吊るせる状態で出品してください。

※詳しくはマドカホール配布、又はマドカホールホームページ記載の作品募集要領をご覧ください。

会期	部門	体 裁	大 き さ	出品点数	搬入日	搬出日
1期	洋画	額装 (ガラス不可) *油彩画、水彩画、パステル画、版画、アクリル画などを含みます	10号～50号(53.0cm×～116.7cm×)版画は自由	1点	5/13(火) 5/14(水)	5/25(日)
2期	写真	パネル張り・額装 (ガラス・アクリル等不可)	写真サイズがA3以上で、仕上がり寸法が100cm×80cm以内 (組写真の場合は、1つのパネルや額装の中に配置し、その仕上がり寸法が100cm×80cm以内)	1点	5/27(火) 5/28(水)	6/8(日)
3期	書	額装・軸装・枠装・ 衝立・屏風・帖・巻物 刻字・篆刻 *漢字、かな、近代詩文(調和体)、現代書、刻字、篆刻 *5文字以上の場合は、所定の「釈文用紙」を提出してください。 *近代詩文に限っては、華美にならない程度の挿し絵は可。	仕上がり寸法 200cm×200cm以内 又は (縦横自由) 300cm×100cm以内 自由	1点	6/10(火) 6/11(水)	6/22(日)
	俳画	額装・軸装 *必ず俳句が入っている事。	6号色紙以上	2点以内		
4期	日本画	額装 (ガラス・アクリル不可)	10号～60号(53cm×～130.3cm×) ※落款のある作品は、原則受付できません	1点	6/24(火) 6/25(水)	7/6(日)
	陶芸	装飾的付属品は不可 (皿立て、ランプ等)	自由	2点以内		

問合せ先:マドカホール

電話:072-443-3800(9時～17時) 休館日:月曜日・4/29・5/3～5/5

●一つだけのロビー作品展 展示作品募集

月替わりで自泉会館のロビーに絵画等の作品を展示しています。
展示していただける方は6月末までにご連絡ください。

【作品募集内容】

- ・自泉会館ロビーに似合うと思われる作品
- ・20号(72cm×60cm程度)までの大きさ
- ・吊るすことができるもの
- ・展示無料
- ・自泉会館事務所にて、作品の預かり・返却となります。

※月に1作品なので展示数に限りがあり、応募多数の場合はご遠慮いただくこともございます。
また、展示月の指定もできません。

●第14回自泉ジュニアコンサート 出演者を募集します。



- ◆オーディション日時: 令和7年6月7日(土)午後2時開始
- ◆コンサート日時: 令和7年7月6日(日)午後2時開演
- ◆会場: 岸和田市立自泉会館ホール

【募集要項】

- *ピアノ、声楽、弦楽器、管楽器。打楽器他は要相談
(アンサンブルでの演奏は可。但し合唱は不可)
- *対象年齢: 小学生～高校生
- *参加費: 1組につき2,000円
- *コンサートで演奏する曲(8分まで)をご用意ください。
(8分以内であれば複数曲可)
- *申込締切日: 5月18日(日)
- *詳細については、チラシまたは岸和田文化事業協会のホームページをご覧ください。
- ◆申込み・問い合わせ先 岸和田文化事業協会
〒596-0073 岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館
TEL/FAX 072-437-3801
E-mail fontaine@sensyu.ne.jp

●令和7年度 定時総会開催

日 時: 令和7年5月17日(土)午後1時より
会 場: 岸和田市立自泉会館ホール
内 容: ①令和6年度事業・決算報告
②令和7年度事業計画・予算案審議



●第79回自泉フレッシュコンサート

日 時: 令和7年6月20日(金)午後6時30分開演
会 場: 岸和田市立自泉会館ホール
出演者: 大林 紗耶(ソプラノ)
藤本 斗馬(オーボエ)
吉岡 七海(メゾソプラノ)
チケット: 会員前売1,000円(当日200円増)
一般前売1,200円(当日200円増)
定 員: 60名



■チケット販売場所

岸和田市立自泉会館事務所

■申し込み・問い合わせ

岸和田文化事業協会事務局まで

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館

TEL/FAX 072-437-3801

E-mail fontaine@sensyu.ne.jp

※事業の詳細・チラシは、岸和田文化事業協会ホームページにも掲載しています。

令和7年度(2025年)(2025年4月～2026年3月)

会員募集

年会費 個人会員(1口) 2,000円 団体会員(1口) 5,000円
家族会員(1口) 1,000円 法人会員(1口) 10,000円
(個人会員の同居家族) 特別会員(1口) 50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。
郵便振込の場合は 口座番号 00970—9—28145
加入者名 岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで
TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

お知らせ

会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務局までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる、当協会主催の事業がたくさんあるなど、ご希望に添えない場合がございます。ご了承ください。
※自泉会館をご利用の際は、咳エチケットにご協力ください。

nouvelle
Fontaine

vol.86

発行: 岸和田文化事業協会
発行日: 2025年4月25日

◆事務局
〒596-0073
岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員 小末もとえ・小木曾由季・黒木幸子
協力 近江和代・本郷元子

編集後記...

昨年の酷暑、今年初めの豪雪といった極端な季節が続きましたが、短いかもしれないけれど、花が咲きだす春を楽しみましょう。
(小木曾)



<https://jisen.jp>

岸和田文化事業協会

検索

